

クラレグループのCSRマネジメント

企業ステートメント	CSRマネジメント・CSR推進体制	クラレグループのCSRマテリアリティ
クラレグループ行動規範	CSR活動目標と成果	リスクマネジメント・コンプライアンス
コンプライアンス・ハンドブック		
トップステートメント	品質マネジメント	

クラレグループのCSRマネジメント
CSRマネジメント・CSR推進体制
クラレグループのCSRマテリアリティ
CSR活動目標と成果
リスクマネジメント・コンプライアンス
品質マネジメント

安全報告
環境報告
社会性報告
コーポレート・ガバナンス
GRIスタンダード対照表 (内容索引)
CSRレポート バックナンバー
ランドセルは海を越えて

CSR活動目標と成果

2017年度クラレグループのCSR活動目標とマテリアリティ

	活動項目	目標	マテリアルな項目	バウンダリー※	成果
経営	中期経営計画	中期経営計画「GS-STEP」(2015～2017) ・コア事業の深耕 ・技術革新 ・次世代成長モデルの構築 ・経営資源最適配置	経済パフォーマンス 製品およびサービス	◎	「GS-STEP」(2015～2017)の施策実施内容については中期経営計画「PROUD2020」(2018～2020) 参考資料 (2～4ページ) をご参照下さい。
安全	保安防災	・個人の安全意識の向上(咄嗟時の不用意な危険行動防止) ・非正常リスクアセスメントの推進 ・重大リスクには本質安全化または被害極小化の対策 ・異常の兆候検知と異常時対応能力の向上(経験を積ませ技術力向上) ・安全活動マネジメントのグローバル展開に向けた基盤整備	保安防災 労働安全 物流安全 化学品・製品安全 顧客の安全衛生 製品およびサービスのラベリング	◎	現場での工夫を凝らした取り組みや想定外への取り組み、危険感受性向上のための教育、各種訓練の充実などにより、安全水準が向上できました。また、国内外で共通化した労働災害評価システムの本格運用を始めるなど、グローバル展開に向けた基盤整備が進捗しました。
	労働安全			○	
		国内：温室効果ガ			

	活動項目	目標	マテリアルな項目	バウンダリー※	成果
環境	地球温暖化防止	ス排出量 【環境効率】 2010年度比40%向上（2020年） 海外：エネルギー使用量 【環境効率】 2010年度対比10%向上（2020年）	エネルギー製品およびサービス	◎	国内では約9,600トンのCO ₂ 排出量削減対策を実施しました。その結果、国内GHG排出量の環境効率は、2010年度対比で向上しましたが、中期計画の2017年度目標値には未達でした。一方、海外のエネルギー使用量の環境効率は低下しました。
	水資源の有効利用	海外：水使用量 【環境効率】 2010年度対比10%向上（2020年）	地域における水源	○	国内では具体的な目標は設けていませんが、有効利用に努めました。海外での水使用量は、生産能力増強等に伴い増加しました。
	化学物質の排出管理	国内：日化協PRTR物質排出量 【環境効率】 2010年度対比100%向上（2020年）	大気への排出	◎	国内におけるPRTR物質（法対象物質及び日化協自主管理物質）の排出量は前年実績を上回りましたが、環境効率は2010年度対比で向上しました。海外では各生産拠点においてそれぞれの化学物質排出規制を遵守しました。
	廃棄物の有効利用	国内、海外：廃棄物発生量 【環境効率】 2010年度対比10%向上（2020年）	排水および廃棄物原材料	○	国内では2007年以降継続している「廃棄物の有効利用率90%以上、最終埋立処分率1%以下」を維持しました。また、廃棄物発生量は前年実績を下回り、環境効率は2010年度対比で向上しました。海外については2010年度対比で低下しました。
	環境会計	-	環境全般	○	環境保全に関する投資額は752百万円（前年382百万円）、費用額は2,399百万円（同；2,359百万円）でした。 ▶ ウェブ参照
職場	働きがいを実感できる人事施策	社員に対する成長機会の提供	研修および教育	○	世界を舞台に活躍できる人材育成の一環として、部長クラス、課長クラスを対象とする集合研修や担当者レベルのトレーニングなどを実施し、国内外で約50名が参加しました。
	ダイバーシティー・ワーク・ライフ・バランス	・女性活躍推進 ・働き方改革	多様性と機会均等雇用	○	風土醸成・意識改革を目的とした部長クラスのワークショップや、準管理職クラスの女性社員を対象とした研修の実施、ノー残業ウィークの実施、フレックス制度・在宅勤務の試行などにも取り組みました。
	心身の健康管理	メンタル対策、生活習慣病対策の継続・強化	労働安全衛生	○	管理・監督者（本社：管理職、事業所：統括職以上）のラインケア研修受講率100%を達成しました。
社会	文化、学術、環境、福祉分野での貢献	下記活動の実行： ・「ランドセルは海を越えて」 ・「少年少女化学教室」 ・知的障がい者の作業施設運営 ・「クラレふれあい募金活動」 ・地域とのつながりに重きをおいた活動	地域コミュニティ	◎	クラレグループ社会貢献活動方針に則り、文化・学術・環境・福祉分野を中心に活動しました。

企業情報	製品情報	研究開発	サステナビリティ	投資家情報
会社概要	事業から探す	基本方針	企業ステートメント	経営方針
ごあいさつ	製品名から探す	技術と製品	クラレグループ行動規範	IRニュース
企業ステートメント	キーワードから探す	組織・体制	クラレグループ人権方針	クラレって？
役員	製品のはてな	歴史	トップステートメント	業績・財務情報
組織図		トピックス	サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	IRライブラリー
沿革			クラレグループのマテリアリティ	株式情報
主な受賞歴			Planet	IRカレンダー
主要グループ拠点			Product	よくあるご質問
会社案内動画			People	
テレビ番組動画			ガバナンス	
広告ギャラリー			GRIスタンダード対照表（内容索引）	
			クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト	
			ランドセルは海を越えて	
			イニシアティブ	